

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

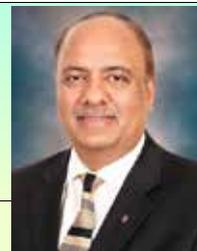
事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：池上幸平 副会長：唐澤千明 幹事：熊谷 健 公共イメージ向上委員長：田中真人



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 国際ロータリーのテーマ
**奉仕しよう みんなの
 人生を豊かにするために**

2021-2022 RI会長
 シェカール・メータ
 <インド (西ベンガル州) >



第1624回例会 令和4年6月14日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 翔け 中央ロータリー 鈴木一比古ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介 パストガバナー 原拓男様 (佐久ロータリークラブ)



■ 会長談話 池上幸平会長



信濃毎日新聞にこんな記事が載っていました。伊那市教育委員会の市民講座「まほらいな」の市民講座60人で飯田線の平岡駅に行った時の記事です。
 「キーキー声い新橋を」のリズムで始まる鉄道唱歌は皆さまご存じだと思います。1967年、天竜峡駅の駅長を務めた鈴木貞一さんが考案した、全部で二十番ある歌詞が柵の木に彫ってあるものを見に行ったようです。鉄道唱歌は1900年(明治33年)に作詞：大和田健樹さん、作曲：おのうめかさんで作ったようです。その曲にアレンジして伊那谷を読んだ詩です。歌いだしは「豊橋乗り換え船橋と豊川下地を後にして」で始まり、豊川稲荷や東栄町、十二番で長野県に入り天竜峡や元善光寺、吊るし柿、リンゴ畑、高遠城など伊那谷の名所・名物を取り上げ、終点の辰野駅まで94駅を読んでいます。自分たちが住んでいる街を半世紀も前に鉄道唱歌のリズムに乗せて紹介できる観光資源が、今現在も変わらないということは素晴らしい事だと思います。この先はリニア新幹線だったり、飯田線が無くなるような歌詞に変わらないことを望みたいと思います。

■ ニコニコボックス

- ◆池上幸平 原拓男パストガバナー、ようこそいらっしゃいました。今日は6月の切り替えの忙しい時に卓話をお願いしましたが、とても楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。
- ◆熊谷健 今日、原拓男様ようこそおいで下さいました。卓話では、会員増強の話、国際ロータリー規定審議会の情報などを披露していただくことになっています。楽しみにしています。宜しくお願い致します。
- ◆小椋文成 原様、本日は卓話をよろしくお願い致します。
6/11(土) イーナJr.ソフトボールクラブは、全日本女子中学生長野大会に参加しました。残念ながらタイブレイクの末、負けましたが良い経験ができました。ありがとうございました。
- ◆井上修 原さん、本日はありがとうございました。よろしくお願い致します。
- ◆下井達典 今年度もあと少し。コロナ制約の下でクラブ運営に携わった関係の皆様に感謝と敬意を込めて!!

- ◆小川秋實 コロナ禍にもかかわらず例会を続けてこられたことを嬉しく思います。他の会合がほとんど無かったのです。
- ◆市川満貞 長野県のバス・トラック・タクシーの3業種で「プロドライバー事故防止コンクール」というものを毎年実施しています。当社が6年連続で最優秀賞を受賞しました。最優秀賞は各業界の1~2社に与えられる最高賞で、この最優秀賞を3年連続で受賞すると3年目には「特別表彰」という別格の賞を頂けます。これを2回連続で受賞しました。目指せ9連覇!
- ◆池田幸平 先週、会長に促されましたので。角田住職さんの常門寺納骨堂を建築させて頂きました。

■ 幹事報告 熊谷健幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 出席報告 会員数45名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者24名 (内Zoom0名) 事前メイク0名 出席率61.54% 前回出席率 修正なし

■ 卓話 パストガバナー 原拓男様 (佐久ロータリークラブ)

・卓話者紹介 井上修会員



略歴 2021年(令和3年)2月現在 原拓男様

岩村田高校に学ばれ一年で東京へ転出。東京私立城北高校を卒業され成城大学に学ばれました。卒業後、創業家の千曲錦酒造(株)入社。社長、会長を務められ、現在、同社相談役になられています。数々の役職や活躍の場があられましたが・・・特に ①アテネオリンピック バスケットボール女子日本代表 総監督 ②国際ロータリー第2600地区ガバナー ③NHK関東甲信越番組審議会委員 ④バスケットボールの選手として国民体育大会5回出場 他。趣味のゴルフはホールインワン2度達成。絵画は東山魁夷、平山郁夫、フェルメール、シャガール等を好み柳沢正人画伯後援会長もお務めになっています。

・卓話 原拓男様

【クラブの活性化について】



今日は「50人以上のクラブを目指して」と題してお話しますが抽象的な話ではなく私たちのクラブが実際に体験した事、また若者とどんな交流をし会員を増強しているかについてお話させて戴きます。皆さんのクラブ活性化に少しでもお役に立てれば幸いです。

さてまず私は個人的に「若者」と言う言葉自体が何か上から目線の様な気がしていますがロータリーは勿論、年齢に関係なく平等が原則なので私は「クラブの若い仲間」と言う親しみを込めて、ここでは「若者」と呼ばせて頂きます。若者と言っても彼らは皆、経営者か役員で私達先輩ロータリアンから給料を貰う訳ではありませんし私がガバナーだった時のジョン・ジャームRI会長のテーマの様に人類に奉仕しようとしてロータリークラブに入会したはずです。従って多少の意識の差は有るにせよ年齢に関係なく「同じ目的を持った仲間」と言う意識がとても重要だと思っています。私は現在77歳ですが自分のクラブや他クラブの多くの若者たちとの交流はパワーを貰える大切な存在だと思っています。実際に彼らと共に奉仕をしたりゴルフをしたりお酒を飲んだりすると自分が彼らと同じとまでは行かなくても多少なりとも若返った感じがしますし、むしろ若者たちと一緒に楽しく奉仕をしたり遊んで貰っている様な感覚さえします。私たちの年齢ではロータリークラブでなければ会社以外でなかなか若い人との交流はないのでロータリーに感謝して積極的に若者たちと交流する方が気持ちも若返り健康的に良いのではないのでしょうか。私達ベテランと言われるロータリアンは確か

に年齢的にはベテランかも知れませんがロータリーの奉仕に関しては実際にベテラン会員より奉仕の精神を持ち行動している若い会員もいると思います。

次に冒頭お話した私たちのクラブが実際に体験した少し恥ずかしいエピソードを紹介します。私がクラブに入会したころ例会に行く年齢は私より5～6歳若いのですが私より20年ほど前に入会した4人のいわゆるベテラン・ロータリアンがいました。彼らはいつも同じ円卓に座って私が挨拶をしてもまともな返事もしない人達でした。後で解った事です。彼らは例会の後、会長や幹事に「あそこが悪い、ここが駄目」とメールを送信していましたので会長、幹事が終わるとクラブを辞める人が何人もいました。若い会員が入っても彼らを大事にするという意識ではなく「ロータリーはこうでなくてはならない」と自分のロータリー感を上から目線で押し付けたので何人もが入会后三か月、半年で辞めて行きました。彼らは若者に限らず他の会員に対しても上から目線で接していたので私がクラブ会長エレクトだった2013年、全員で話し合い彼らは退会して行きました。以上が恥ずかしいエピソードですが、ここで私が申し上げたいのはベテラン会員が「お前たちにロータリーを教えてやるぞ」という様な上から目線で若い会員たちを見るのではなく自分たちのクラブがあと5年後にはどうなるのか？若者が入会してくれなければクラブは存続できるのか？という考えを持って「金の卵」の様な若者を良い意味で大事にするのが私は当たり前だと思います。皆さんのクラブもそうだと思いますが私たちのクラブは新入会員に二人のカウンセラーを付けていますが私は例会では必ず新入会員や若い会員に声を掛けています。これは私自身が入会したての頃知人も居ないし例会が自分の為になると思わなかったからで若者に取ってベテラン会員からの声掛けは嬉しいものだと思いますので積極的に声を掛けて戴きたいと思います。

次に私たちのクラブがその後どうなったかについて事例をお話したいと思います。私のクラブ会長年度2014～15年度の期首会員数は2013年度末に先ほどの4人の他に彼らの友人2人、合計6人が退会したので33名となってクラブ運営に支障が出そうな状況でした。その後、私の会長年度内に30代2人と40代1人が入会し合計36名となりました。それまで私たちのクラブには30代の会員は一人も居らず一番若い会員でも2013年度に入会した41歳の会員でしたので30代の二人の入会は当クラブにとって初めての画期的な出来事でした。この二人の年齢は実際は39歳でしたが、そうは言っても30代は30代ですから私たちの意識として30代の若者が入会してくれた事を機会に若者や女性の会員増強をもっと真剣に考えようと言うムードが起きて来ました。正に5年後10年後のクラブ存続の為に若者や女性会員の増強は避けて通れない非常に重要な課題であると言う事に対しスイッチが入った訳です。そこで先ず戦略計画委員会を発足させ全会員に対してのアンケートや全会員での議論を数回行ってクラブの現状把握をしました。その結果3年～5年後の未来像を「会員が明るく、楽しく、元気よく活動できるクラブをつくろう」という佐久RCのビジョンを設定しました。更にこのビジョンを達成する為の項目を作成し例会でアンケートやグループ討議を行いクラブが目指す年度毎の未来像として3年計画を立てましたがRC奉仕活動の基盤である会員増強・維持活動の項目は初年度から「会員数50名以上のクラブを目指す」となっていました。しかしこの戦略計画が実際に始まった年度の期首会員数は41名で正直なところ私は3年間でこの計画を達成するのは厳しいのではないかと感じていました。所が私の心配をよそに、ここから奇跡が始まりました。この年度に50代の会員が友人の経営者を誘った所、自分ではなく何と28歳の息子さんを入会させてくれました。さらにこの年度内に39,40,42,44歳と平均年齢38.6歳の5人の若者が入会してくれましたが、この内40代の3人は前年入会したM君の友人経営者でM君自身が体験したロータリークラブの素晴らしさを彼らに話して入会の推薦をした若者たちでした。私たちベテラン会員は、この宝物の様な若い新入会員に対し例会時は勿論、夜間例会やゴルフ同好会、そしてワイン同好会更に会員の70%以上が参加している無尽という飲食の会などの親睦活動で年齢の差やロータリー経験の長短に関係なく奉仕と言う同じ目的を持った仲間として接しました。すると彼らはロータリーの楽しさを実感し奉仕活動にも積極的に参加し翌年度、自分たちの友人経営者40代前半3人と50代前半の若者4人を入会させてくれたのです。こうして戦略計画が正式に発足して2年目に私達は会員増強・維持活動の項目で50名という目標を達成した事になりました。次年度も7月早々38歳の若者が入会し年度内には戦略計画に載っている女性会員1名の目標も達成しました。その後3名が入会し現在会員数は55名ですが先ほどお話しした2013年度末に6名が退会して以降8年間退会者は1人も居りませんし出席率もコロナ禍の2年半ほどを除き年間平均94%となっています。さてこの様に若者が若者を会員に推薦する良い環境が生まれた要因は色々ありますが1つは「全員参加で作った全ての会員が意識

しやすい明確なクラブ目標である「戦略計画」が有った事」もう1つは今お話した通り「新入会員や若い会員と先輩会員、特にロータリー経験の長いベテラン会員との親睦や交友が非常に大切」だという点だと思います。

最後に私達、佐久RC会員の年代別会員数と構成比、平均年齢についてお話します。年代別では30代は2名で3.6%40代は19名で34.6%、50代は11名で20%、60代は15名で27.3%、70代は7名で12.7%、80代は1名で1.8%、合計55名、内、女性2名ですが若者と言える30代、40代の合計は21名で38.2%と高い比率で平均年齢は56.2歳です。

結びにクラブに若者と呼ばれる年代の会員が居なければ交流できませんしベテラン会員ばかりだとマンネリ化して活性化しないのは皆さんご存じの通りです。自分たちのクラブの5年後10年後の為に若者に入って貰う努力を本当に真剣に行い入会してくれた若い会員たちと積極的に交流を行って戴き良い意味で一流クラブと見られる50人以上のクラブを目指して戴きたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

【規定審議会に関して】

審議会（Council）はロータリーの組織運営にクラブの声を反映させる機会です。

1. 規定審議会（COL） Council on Legislation

3年毎に開催。今回は2022年4月10日～14日シカゴでin-personとOnlineのハイブリッドで開催。

当地区は代表議員の宮坂PDGに代わって補欠議員の関邦則PDGがOnlineで参加。

2. 決議審議会（COR） Council on Resolutions

Onlineで毎年開催。2021年決議審議会は2021年10月15日～11月15日開催。11月20日結果発表。

3. 規定審議会のサイクル・・・3年サイクル

1年目：代表議員の選出

2年目：COLへの立法案の提出

3年目：規定審議会に出席

今年の規定審議会に提案された国別提案数は、日本26件で圧倒的多数の提案となりました。

それでは日本時間4月12日（火）から始まった今年の規定審議会を見て行きましょう。初日は、制定案番号22-01～22-09までは「クラブ運営」に関する案件で22-01は2680地区、兵庫県柏原RC提案の「ロータリークラブの目的を改正する」件でしたが否決となり22-07、2780地区茅ヶ崎RC提案の「クラブ理事会が議事録を会員に提供する期限を改正する件60日を30日」のみが採択となりました。22-10からは会員に関する案件で可決された主なものは22-13「会員がクラブの所在地域の居住または事業所を有する要件を削除する件」は賛成402-反対75の圧倒的多数で採択されました。インターネット等の普及で採択されたが大クラブや名門クラブに集中して小クラブが消滅しないか懸念される。第1日目は22-01～22-32までを審議しました。

第2日目の主なものは22-35大阪RC他3か国が提案した「雑誌購読を任意とする件」は賛成119-反対369で否決となりました。22-46は今回の審議会でも重要案件の一つで「人頭分担金を増額する件」は賛成285-反対205であっさり可決されました。そして私が今回の審議会でも最も重要と考える案件、横浜東RC、前橋RC、和歌山南RC、そして私と同期の刀根パストガバナーが中心になってこの案件を提案した敦賀RCが提出した「事務総長の資格、任期、報酬制限を定める」3つの案件は賛成135-反対336の様にそれぞれ大差で否決されました。

■ 点 鐘

13:30

次回例会

6月21日（火） 点鐘／18:30 場所／海老屋料理店

・第35年度最終夜間例会